

世界女子ソフトボール選手権大会優勝
一関市民栄誉賞受賞

藤野遥香さん (トヨタ自動車)
千厩町出身

女子ソフトボール日本代表チームが第13回世界女子ソフトボール選手権大会で見事優勝。チームの一員として活躍した千厩町出身の藤野遥香さん(28)が2人目の市民栄誉賞を受賞した。また、藤野さんや同賞第1号の藤原麻起子さんに続け、この夏、将来のJAPANを目指す小中学生も大活躍。県大会で上位を独占し、東北大会や全国大会で旋風を巻き起こした。ソフトボールは一関の誇り。熱く燃えた2012年夏を追った。

金メダル

勲章

日の丸背負い42年ぶりの「金」 藤野遥香さんに市民栄誉賞が贈られる

日本国内にとどまらず、世界で活躍する、一関が生んだ名選手。それが藤野遥香さんだ。
03年高校ソフトボールの名門埼玉・星野高卒業後、トヨタ自動車に入社。女子ソフトボール部で外野手として活躍。07〜09年はキャプテンを務めた。10・11年は日本リーグ1部で優勝。入社10年目の今年には「自分が3連覇を決める一本を打ちたい」と世界の頂点に立つてもなお、どん欲だ。

ボイル選手権大会」に出場。日本は世界の強豪国を撃破して42年ぶりに金メダルを獲得した。大舞台での活躍に国中が沸いた。
藤野さんが届けた「世界一のビッグニュースは、多くの市民に夢と希望と感動を与えた。その功績に対し、市から「一関市民栄誉賞」が贈られた。表彰式は8月6日、千厩町のマリージュで行われ、地域住民、関係者らが古里が生んだゴールドメダリストを祝福した。



市民栄誉賞は、第12回の同大会で準優勝した藤原麻起子さんに続く2人目の受賞。式には藤原さんも駆け付けた。

女子ソフトボール日本代表が世界一
藤野遥香選手が「金」に貢献

7月13日から22日まで、カナダのホワイトホースで行われた「第13回世界女子ソフトボール選手権大会」で日本は、予選リーグを1位通過。決勝で宿敵アメリカを延長10回の末、2対1で破り、優勝を果たした。同大会の優勝は42年ぶり2度目。

藤野選手は、11試合中9試合に出場。打率3割4厘(23打数7安打)を記録するなど勝負強い打撃でチームの優勝に大きく貢献した。



㊦ 藤野選手の力強いスイング/㊦ 金メダルに輝いた日本代表選手(写真提供:日本ソフトボール協会)

<予選リーグ・セクションB>

- 第1戦 ○3-1 オーストラリア
- 第2戦 ○7-0 ニュージーランド
- 第3戦 ○6-2 カナダ
- 第4戦 ○1-0 台湾
- 第5戦 ○6-3 イタリア
- 第6戦 ○7-0 イギリス
- 第7戦 ○9-0 メキシコ

<決勝トーナメント>

- 予選B 1位 vs 予選A 2位戦 ○1-0 中国
- セミアイナル ●1-3 アメリカ
- ブロンズメダルゲーム ○2-0 オーストラリア
- ゴールドメダルゲーム ○2-1 アメリカ

Fujino Haruka



藤野遥香
ふじの・はるか

PROFILE

1984年千厩町千厩生まれ。97年清田小卒、千厩中入学。2000年千厩中卒、星野高(埼玉)入学。03年星野高卒、トヨタ自動車入社。背番号「19」、外野手。右投右打。身長162㍎。28歳

遥香選手の活躍を



Pride

一関の誇り ソフトボール王国の挑戦